

報道関係者各位

平成 26 年 3 月 6 日

アバゴ・テクノロジー、100G ネットワークのバックプレーン/ポート用途向けに 最先端のリタイマーIC を発表

100GbE システムで 4×25G/8×25G の高密度な接続を実現し、
業界最長の伝送距離をサポート

アバゴ・テクノロジー株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:米山周)は、本日、先進的な 100GbE (ギガビット・イーサネット)システム向けに設計されたマルチチャネルのリタイマーIC「AVSP-4412」、「AVSP-8801」の提供を開始すると発表しました。両製品は、1チャンネル当たり 25G (Gbps) の伝送速度と最大 32dB のチャンネル損失に対応できます。これらを使用することにより、ネットワークのバックプレーン・インタフェースにおける 4×25G あるいは 8×25G の高密度/長距離伝送の接続や、ネットワークのフロント・ポート・インタフェースにおける最高 4×28G の VSR (Very Short Reach) 接続を実現することが可能になります。

AVSP-4412 は双方向/4チャンネル、AVSP-8801 は単方向/8チャンネルのリタイマーIC です。いずれも、パターンの生成、アイ・パターンのプロット、エラーの検出といったテスト/チャンネル解析用の機能を内蔵しています。MDIO、I2C、JTAG を介して制御できるほか、アバゴが提供する API (Application Programming Interface) を使ってシームレスにソフトウェアの構築を行いチップをコントロールすることも可能です。また、AVSP-4412 はバックチャンネル機能も備えているため、自動的にリンク・トレーニングを行うことができます。これを利用すれば、最適な EQ (イコライザ) の設定を判断するためのシミュレーションやシステム検証を行うことなく、各チャンネルの受信/送信を最適化するといったことが可能になります。

製品の特徴

- AVSP-8801: 1Gbps~28Gbps、8チャンネルのリタイマー
- プロトコルに依存せず、多様なインターコネク・インタフェースをサポート可能
 - CEI-25G-LRに準拠する長距離バックプレーン・インタフェース
 - CEI-28G-SR/VSRに準拠するチップ・ツー・チップ/チップ・ツー・モジュールのインタフェース
 - IEEE 802.3-2012 Clause 45に準拠するMDIOインタフェース
 - IEEE 802.3 Clause 72に準拠するKRバックチャンネル
- 1チャンネル当たり25Gbpsの伝送速度、最大32dBのチャンネル損失に対応できる長距離性能
- ビット誤り率(BER)は10⁻¹⁷
- あらゆるSerDesインタフェースに対応できるプログラマブルな送信/受信イコライザ機能
- 包括的な診断用ソフトウェア: パターンの生成 (PRBS、ユーザー定義)、エラーの検出、アイ・パターンの監視、温度の検知、入出力極性の反転
- ファームウェアと初期化設定をEEPROMから自動的にロード
- あらかじめ用意されたAPIによって、シームレスなソフトウェアの構築を実現

PRESS RELEASE

〒153-0042 東京都目黒区青葉台4-7-7
青葉台ビルズ7F
www.avagotech.co.jp

- 電源電圧は1V、2.5V(0.9Vのオプション)
- AVSP-4412:12mm×12mmの外形、1mmピッチのパッケージ(11×11 BGA)
- AVSP-8801:14mm×14mmの外形、1mmピッチのパッケージ(13×13 BGA)

アバゴでバイス・プレジデント兼 ASIC/ASSP 製品事業部門ゼネラル・マネージャを務めるフランク・オストジックは、「AVSP-4412とAVSP-8801は、業界をリードする当社の28nm CMOS SerDes 技術を活用した Vortex Signal Integrity™ ファミリの製品です。このファミリの製品は、消費電力、ジッター、クロストーク、伝送距離の面で最高レベルの性能を誇ります。新たにリリースされた2つの製品は、アバゴの ASSP 製品群をさらに拡充するものです。加えて、先進的な100GbE システムの設計におけるシグナル・インテグリティの課題の解決に向けた当社の取り組みを具現化するものでもあります」と述べています。

Linley Group 社でシニア・アナリストを務めるローリング・ヴィアベル氏は、「バックプレーンやフロント・ポートの分野には、25Gbps/28Gbps の長距離伝送アプリケーションが新たに登場しました。これに対応するために、アバゴの新製品では、最先端のレーザ技術、SerDes におけるチャンネル解析、KR バックチャンネルによる最適化といった同社 ASIC グループの重要な能力や専門技術が活用されています。これらの製品は、SerDes 分野の競合他社メーカーを抑えてアバゴが最前線に位置することを証明しています」とコメントを寄せています。

アバゴは、AVSP-4412とAVSP-8801を、3月11日～13日に米カリフォルニア州サンフランシスコで開催される展示会『OFC 2014』に出展します。アバゴのブース番号は3160です。

価格と供給

AVSP-4412とAVSP-8801はすでに量産出荷中です。サンプル、価格、発注については、アバゴ・テクノロジーの正規販売代理店までお問い合わせください。

製品画像



AVSP-4412 / AVSP-8801

PRESS RELEASE

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-7-7
青葉台ビルズ7F
www.avagotech.co.jp



アバゴ・テクノロジー社

日本法人: アバゴ・テクノロジー株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:米山周)

アバゴ・テクノロジーは、通信、産業、民生向けアナログ・インターフェース機器のグローバルリーディング・サプライヤです。当社の主力製品は、アナログ、ミクストシグナル、オプトエレクトロニクスの部品やサブシステムなど多岐にわたっています。ターゲット市場は、インダストリアル / 自動車、情報通信 / エンタープライズ・ネットワーク、そして携帯電話/ワイヤレス・コミュニケーションの 3 つの主要マーケットに、高機能そして高品質製品を提供しています。また、世界中に技術サポートおよびカスタマーサービス拠点を有し、お客様をサポートしています。アバゴ・テクノロジー技術革新の伝統は、50 年前のヒューレット・パッカーに遡り、そしてアジレントの時代から受け継がれてきたものです。詳しくは当社のウェブサイト www.avagotech.co.jp をご覧ください。

#

Avago, Avago Technologies, A のロゴ、および Vortex Gearbox は、米アバゴ・テクノロジー社、またはその子会社もしくは関連会社の商標です。

本件に関するお問い合わせ先(報道関係者):

株式会社中外

松田 尚

TEL: 03-3255-8411

matsuda@chugai-ad.co.jp